

京都府子育て環境日本一推進会議 講演者 略歴

○氏 名

橋本 みなみ

○所 属

- ・横浜市立大学国際教養学部国際教養学科4年
(令和5年秋からドイツ留学中)
- ・認定NPO法人ミニシティ・プラス理事

○生年月日

平成15年生まれ(21歳)、横浜市都筑区出身



○経 歴

- 平成25年(10歳) 「ミニヨコハマシティ」初参加。
- 平成26年(11歳) 同年の「ミニヨコハマシティ」副市長に選ばれる。
- 平成27年(12歳) 同年の「ミニヨコハマシティ」市長に選ばれる。
- 令和3年(18歳) 認定NPO法人「ミニシティ・プラス」スタッフとして加入し、参加者から運営側へ。
- 令和3年(18歳) 横浜市立大学へ入学。(三輪律江教授ゼミ)
「ミニヨコハマシティ」等での経験を基に、「市民まちづくり」を専門に学ぶ。
- 令和5年(20歳) ドイツに留学し、本場「ミニ・ミュンヘン」のワークショップにも参加。(～現在)

○「ミニヨコハマシティ」とは(令和6年9月28日～29日開催予定)

- ・ドイツ・ミュンヘン発祥の「ミニ・ミュンヘン」を横浜市で実施
- ・認定NPO法人「ミニシティ・プラス」が平成19年から毎年開催。(コロナ禍の令和2年、3年を除く)
- ・子ども達の中から、選挙でその年の「ミニヨコ市長」を選出。
- ・近年は、過去に参加した「子ども」が「大人」になり運営側に回るなど、持続的な取組として定着している。

○ドイツへの留学(令和5年秋～)

本場ドイツの「ミニ・ミュンヘン」におけるワークショップに参加中。卒業研究としてミュンヘンの高層住宅地のこどもの遊び環境調査に取り組む。

○その他の活動(令和4年12月～)

ゼミ活動を通じ、横浜市金沢区のUR団地「金沢シーサイドタウン」内の拠点「並木ラボ」にて、住民、地域企業と協働したまちづくりを目指す「あしたタウンプロジェクト」に参画。